

令和3年度東日本大震災風化防止イベント 宮城県知事メッセージ

宮城県知事の村井嘉浩です。

皆さん、このたびは「東日本大震災復興フォーラム」にお越しいただき、ありがとうございます。東日本大震災が発生してから今年で11年となります。この間、皆様からの温かいご支援やご協力をいただき、東日本大震災からの復旧・復興に向けた力強い歩みを進めて来ることができました。

皆様のご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。宮城県ではおかげさまでハード面の復興は、おおむね完了しておりますが、心のケアやなりわいの再生など、ソフト面の復興に引き続き取り組んでいく必要がございます。

一方、復興が進展するにつれて、震災の記憶の風化や関心の低下が懸念されております。全国から多大なご支援を賜った我が県といたしましては、震災の記憶や教訓を広く、将来にわたって語り継ぐことで、多くの方々に災害の恐ろしさや命を守る行動について訴え、今後、全国において発生が予想されている災害で活かしていただくことが重要であると考えております。

宮城県では、昨年6月に開館した「[みやぎ東日本大震災津波伝承館](#)」をはじめ、各地で震災遺構などの伝承施設の整備が進み、皆様にお越しいただく準備が整っております。また、今回のイベントの特設サイトでは、オンラインによる語り部体験などに参加いただける機会をご用意しましたので、是非現地で、あるいはオンラインでご覧いただきたいと思っております。

さらに、特設サイトでは、力強く復興してきた港町の代表である「[気仙沼 海の市](#)」や「[シーパルピア女川](#)」、名取市の「[ゆりあげ港朝市](#)」について、復興のストーリーを交えてご紹介しております。このほかにも、宮城にはたくさんの魅力がありますが、もう一つお知らせしたいがございます。それは、今年令和4年が宮城県にとって県制150周年の節目を迎える年であり、県内各地では観光キャンペーンなどのイベントが予定されていることです。皆様には是非、この機会に宮城にお越しいただき、宮城の歴史や文化にも触れていただきたいと考えております。

その際には東北各県にも足を延ばしていただき、各県の魅力や復興の状況を肌で感じていただければと思います。最後になりますが、皆様には東北の復興について、引き続き関心をお持ちいただき、「被災地の県産品を買っていただく」、「現地に足を運んでいただく」など、東北のサポーターであり続けていただければ、大変ありがたく思います。

今後とも被災地の復興にご協力の程、よろしく申し上げます。